

令和元年度第2回地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 議事要旨

日時 令和元年8月20日(火) 16時00分から18時05分

場所 加古川中央市民病院 講堂「光(キラリ)ホール」

出席者(委員) 森脇委員長
加堂副委員長
中田委員
石井委員
溝端委員

報道関係者 0名

傍聴者 0名

- 会議次第
1. 開会
 2. 議題
 - (1) 平成30年度業務実績に関する評価について
 - (2) その他
 3. 閉会
 4. 事務連絡

配付資料

資料1: 平成30年度の業務実績に関する小項目評価

1. 開会	<p>開会の宣言</p> <p>森脇委員長よりあいさつ</p> <p>前回機構から報告があったが、数字が上がることは良いことである。数字が上がることで、職員や患者の幸福にも繋がっていると思う。その反面、問題点も出てくる。特に、職員間の対人関係（コンプライアンス、ハラスメント）には注意が必要である。</p> <p>本日も、委員の皆様から忌憚のないご意見をお願いしたい。</p>
2. 議題	<p>(1) 平成 30 年度業務実績に関する評価について</p> <p>小項目評価</p> <p>事前に提出いただいた各委員の評価が異なる小項目を中心に質疑及び議論を行い、委員会としての評価を決定していくことを委員長から各委員へ説明があった。</p> <p>【大項目】1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>【中項目】1 市民病院として果たすべき役割の発揮</p> <p>【小項目】(1) 救急医療への対応</p> <p>法人自己評価：4 委員事前評価：4（3人）、5（1人） ⇒ 評価委員会評価：4</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車の不応率が 8.7%と改善されていることは評価できる。不応率が 10%を切るためには、受入れる側が努力をしなければ達成できないことである。 ・不応率の改善は素晴らしい。しかしながら、外傷、骨折などの整形外科部門の不応率が高いなど、各診療科においてまだ改善できるところはあ る。 ・症状や重症度など 1 件 1 件受入れる内容が異なる中で、スタッフが実に頑張っており、しっかり対応できている。 <p>【小項目】(3) 予防医療の提供</p> <p>法人自己評価：4 委員事前評価：4（3人）、5（1人） ⇒ 評価委員会評価：4</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PET 検診など、特殊な機器を使用した検診にもっと取り組んでほしい。 ・健康教育・啓発なども、周りでは行っていないような健康活動に取り組んでほしい。 ・医師会、総合保健センター、行政も検診や健康活動を行っているが、最先端の医療機器がある大きな病院で受けたいという市民のニーズもある。 <p>【小項目】(4) 地域の医療機関との連携強化</p> <p>法人自己評価：4 委員事前評価：4（3人）、5（1人） ⇒ 評価委員会評価：4</p>

(主な意見)

- ・2病院時代から逆紹介を積極的に行っていたが、現在は、それ以上に伸びており、非常に感心している。
- ・連携強化のための取組はどのようなことをしているのか。

(法人回答)

回復期、慢性期になった患者には地域の診療所（かかりつけ医）へ行っていただくことが基本と考えている。医師から患者へその旨の説明を行うのに時間が費やされ、診療が留まることが課題である。病気が落ち着いた方でかかりつけ医を持たれていない患者に対しては、地域連携室で時間をしっかり取り、対応しているところである。また、地域の病院とも連携をとり、役割を明確化できるよう対応しているところである。

【中項目】2 高度・専門医療の提供及び医療水準の向上

【小項目】(1) 高度・専門医療への取組

法人自己評価：4

委員事前評価：4（3人）、5（1人）

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

- ・5大センターなどの体制が整ってきており、今から改善が図られ、更に伸びていく可能性があると思う。
- ・医療従事者をしっかり確保できており、更に充実していける分野であるため、今後に期待している。
- ・周産母子センターにおける分娩件数が減となった理由は何か。

(法人回答)

ハイリスクな患者を主に受入れており、普通分娩については、基本的には開業医及び他病院で受けていただいているため、件数が減となっている。ハイリスク妊産婦や低出生体重児については、100%受入れている。

【小項目】(2) 総合診療体制とチーム医療の充実

法人自己評価：4

委員事前評価：4（3人）、5（1人）

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

- ・総合診療体制とチーム医療について、十分充実してきていると思う。
- ・いろいろな機器を使用した手術及び検査件数が大きく増加するなど、最高評価でも良いと思うが、診療科によっては依然として課題もあり、まだまだ改善できる余地があり、今後、更に良くなることを期待する。

【小項目】(3) 専門性及び医療技術の向上

法人自己評価：3

委員事前評価：3（3人）、4（1人）

⇒ 評価委員会評価：3

(主な意見)

- ・ダヴィンチ（手術支援ロボット）の適用疾患が広がるなどしているが、ダヴィンチを保有している病院が周辺に多く、患者の取り合いになっている中で、努力している。

【中項目】4 優れた医療従事者の確保及び育成

【小項目】(1) 優れた医療従事者の確保

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (2人)、5 (2人)

⇒ 評価委員会評価：5

(主な意見)

- ・救急医療、高度専門医療を推進していくためにも、医療従事者の確保が必要であり、しっかりと確保ができています。
- ・初期臨床研修医をしっかりと確保ができています。
- ・神戸大学は基幹病院に力を入れており、今後、他の派遣病院との兼ね合いなどから、今のように医師を派遣してもらえない可能性がある。今のうちに、若手や中堅の指導医を集め、院内で教育し、医師を育てていく体制が必要と考える。

(法人回答)

初期研修医や専攻医の5年目までの若い医師をしっかりと確保していきたいという方針で取り組んでいる。H23年は5年目までの医師数は20%未満であったが、今現在は、40%程になっており、若い医師の率が上がっている。このことは、救急の受入にも影響している。

また、初期研修医を確保するために、現在、兵庫医大や神戸大学などの学生を受け入れている。学生への指導も、医師だけでなく、看護師や薬剤師が指導するなど、病院を挙げて対応し、若い医師の確保に取り組んでいる。

【小項目】(2) 臨床研修病院としての機能の発揮

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

- ・外科の専門医の研修志望者の確保などの課題もあるが、大学病院と連携を図りながら円滑な研修を進めている。

【小項目】(3) 人材育成・教育体制の充実

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

- ・看護協会や厚生労働省が特定看護師に力を入れだし、認定看護師の講習会が滞っていると聞いている中で、資格を取得するために職員が努力している。
- ・いろいろな方向性を出しながら、積極的に取り組んでいる。
- ・活動指標にも掲載していない取組はあると思う。法人の目標に向かって、それぞれの職員が専門性を持って、教育を受けていることが評価できる。

【大項目】2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

【中項目】1 自律性、機動性及び透明性の発揮

【小項目】(2) 経営管理能力の向上

法人自己評価：4
委員事前評価：4（3人）、5（1人）
⇒ 評価委員会評価：4

（主な意見）

- ・医療の専門家の集まりのため、医療面の推進に注目を置かれると思うが、そのような中でも、経営面にしっかり注目し、マネジメントされていることは素晴らしい。
- ・良い経営の下に、良い医療が提供される。経営のマネジメントを定着させるために、積極的に取り組んでいる。

【小項目】（3）効率的な業務体制の推進

法人自己評価：3
委員事前評価：3（1人）、4（3人）
⇒ 評価委員会評価：4

（主な意見）

- ・事務支援システムの導入が検討段階で留まっているが、事務部門の見直しというのは、時間を要するものである。そのような中で、内部統制の強化ができていることは評価できる。

【小項目】（4）業務管理（リスク管理）の充実

法人自己評価：3
委員事前評価：3（1人）、4（2人）、5（1人）
⇒ 評価委員会評価：4

（主な意見）

- ・管理システムを順調に確立している。成果はまだこれからだと思うが、前向きに改革を進めていることは評価できる。
- ・内部監査室、審査室を設置し、体制の整備が図られている。
- ・未収者への請求や督促をしているが、何割が回収できているのか。

（法人回答）

1割程度の回収となっている。これまで未収金に対する請求行為ができておらず、昨年度に未収金管理システムを導入し、請求や督促を行っているところである。

【中項目】2 やりがいを持てる病院づくり

【小項目】（1）職員の満足度の向上

法人自己評価：3
委員事前評価：2（1人）、3（3人）
⇒ 評価委員会評価：3

（主な意見）

- ・平成29年度の満足度調査は非常に悪かったが、平成30年度は向上しており、忙しい中でも、職員がやりがいを感じていると判断できる。
- ・病院の体制が改善されていっており、これからも満足度は上昇していくと思う。
- ・職員がやりがいを持ちながら業務することは、良い医療を提供することに繋がる。今後も満足度向上できるよう取り組んでほしい。

【小項目】(3) 働きやすい職場環境の整備

法人自己評価：3

委員事前評価：3 (3人)、4 (1人)

⇒ 評価委員会評価：3

(主な意見)

・24時間院内保育の運営や病児保育の開始に向けた取組など、職員が働きやすい環境が整いつつある。

【大項目】3 財務内容の改善に関する事項

【中項目】1 経営機能の強化

【小項目】ー

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

・設備投資や人的投資など、積極的に支出している中で、それを上回る収入を上げていることは、大変素晴らしい。

・今後もまだまだ伸びていくことを期待する。

【中項目】2 収益の確保及び費用の節減

【小項目】1 収益の確保

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

・在院日数を短縮させ、病床の回転率や診療密度を上げるなど、効率的に収益確保ができています。

・昨年度以上の収益が出ていることは素晴らしい。入院単価7万8千円というのは素晴らしい数字である。

・病院の体制整備が進んでいっており、まだまだ伸びていく要素はある。

【小項目】2 費用の節減

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価：4

(主な意見)

・高度医療を推進するための材料費の増加、また、職員への賞与による還元などがある中で、他のコストを削減し、計画的に取り組んでいる。

【大項目】4 財務内容の改善に関する事項

【中項目】2 経営機能の強化

【小項目】1 実習施設としての役割

法人自己評価：4

委員事前評価：4 (3人)、5 (1人)

⇒ 評価委員会評価：4

	<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの実習生を受入れており、基幹病院として、大きな役割を果たしている。今後も継続して取り組んでほしい。 <p>【小項目】3 実習施設としての役割</p> <p>法人自己評価：3 委員事前評価：3（3人）、4（1人） ⇒ 評価委員会評価：3</p> <p>【中項目】3 加古川市の施策への協力</p> <p>【小項目】2 環境にやさしい病院運営</p> <p>法人自己評価：3 委員事前評価：3（3人）、4（1人） ⇒ 評価委員会評価：3</p>
	<p>(2) その他</p>
	<p>意見なし。</p>
<p>3. 閉会</p>	<p>閉会の宣言</p> <p><加堂副委員長あいさつ></p> <p>経営面でも表れているように、法人が努力し、活発な医療活動をしている。今後、スタッフや患者が増加していくにつれ、問題点が出てくる可能性がある。これからも評価委員会として、病院の発展に尽力していきたい。</p>